



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイティブ株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|--------|-------|--------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 30,769 | △21.0 | △1,710 | ー | △1,637 | ー | △1,868 | ー |
| 2020年3月期第2四半期 | 38,958 | △1.4 | 1,269 | 106.0 | 1,409 | 92.0 | 1,068 | 89.5 |

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,869百万円（-％） 2020年3月期第2四半期 1,066百万円（88.6％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | △37.87 | ー |
| 2020年3月期第2四半期 | 21.84 | ー |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 30,526 | 10,212 | 33.4 | 206.97 |
| 2020年3月期 | 28,926 | 12,082 | 41.8 | 244.83 |

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 10,210百万円 2020年3月期 12,077百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | ー | 0.00 | ー | ー | ー |
| 2021年3月期（予想） | ー | ー | ー | ー | ー |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2021年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 70,817 | △5.3 | 355 | △66.4 | 397 | △74.0 | 417 | ー | 8.49 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 49,414,578株 | 2020年3月期 | 49,414,578株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 82,048株 | 2020年3月期 | 82,048株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 49,332,530株 | 2020年3月期2Q | 48,939,227株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因し、4月には緊急事態宣言が発令されたため大幅に悪化したものの、4・5月を底にして宣言解除後は緩やかながら景気回復局面に転じたとみられております。特にソフトウェア関連は堅調であり、鉱工業生産分野も中国経済の回復に牽引されて改善傾向にあります。しかしながら個人消費につきましては、「特別定額給付金」の効果がみられたものの、新型コロナウイルス禍終息の見通しが依然として立たないことや、雇用環境の悪化、長梅雨・豪雨災害などのため全般的には足踏み状態が続いております。

外食産業におきましては、緊急事態宣言解除後も営業時間の短縮、ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保のための客席数の削減、グループ利用による会食や宴会の減少、8月のお盆時期の帰省自粛、小中高校の夏休み期間の短縮など様々な負の影響を受けております。また外出自粛やテレワーク(在宅勤務)の拡大によりテイクアウトやデリバリーの需要が増加しているものの、同業者が多数参入するとともに、中食との競合も一層激化しているため厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤とし、店舗オペレーションの一層の強化と新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェック、マスク着用の実施、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保などの感染予防対策を通じて既存顧客の満足度や安心感の向上と新規顧客の獲得に努めてまいりましたが、感染拡大を懸念する影響から不要不急の外出を自粛する傾向が続き、来店客数が減少したことにより売上高は前年同期を大幅に下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は307億69百万円(前年同四半期比21%減)、営業利益は△17億10百万円(前年同四半期は営業利益12億69百万円)、経常利益は△16億37百万円(前年同四半期は経常利益14億9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は△18億68百万円(前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益10億68百万円)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、かっぱ寿司史上初となる「超創業祭」を開催し、本鮪大トロをはじめとした「超本鮪大集合」、イクラ・うに・蟹をメインとした「超豪華ネタ第放出」、デカ旨ネタのオンパレード「超100円寿司」など、より希少性や限定感のある商品を提供してまいりました。

幅広い目的でかっぱ寿司を利用していただきたいという思いから多様化するお客様の嗜好にお応えすべく、朝の時間の有効活用として、モーニング文化が根付く愛知県・岐阜県の全店舗にて朝食メニューの提供を始めました。また、コロナ禍での外出自粛により外食もままならない状況が続く中、自宅でお店のような雰囲気楽しんでいただきたいと「出張回転寿司サービス」を開始しました。さらに、寿司屋ならではの食材をネットショップに販売する「うまいもん市場」をオープンし、全国・世界各地から集めた新鮮で美味しい商品をお届けいたします。

決済方法の多様化・キャッシュレス化への対応の一環としてスマホ決済サービスとして新たに「はまPay」を全店舗にて導入し、国内のキャッシュレス化への対応とその需要にお応えし、今後も快適なお食事をしていただける環境整備に積極的に取り組んでまいります。

店舗オペレーションにおきましては、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に継続して取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして、全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェック、マスク着用の実施、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保などの感染予防対策を行い、お客様が安全・安心して食事を楽しめる環境を提供してまいりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は248億44百万円(前年同四半期比24.4%減)となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニやスーパーストアを中心とした既存顧客に対する寿司弁当・調理パン等の商品の拡充、新製品の提案や新規取引先の発掘など販売強化に取り組むと共に各拠点間での生産移管等を通じて生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は60億17百万円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は305億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億85百万円増加、工具、器具及び備品が5億97百万円増加、リース資産が1億6百万円減少、敷金及び保証金が2億38百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間における総負債は203億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億69百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が20億円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が10億円増加、未払金が3億73百万円増加、社債及び1年内償還予定の社債が2億55百万円増加、リース債務が96百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間における純資産は102億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億69百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失△18億70百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

尚、今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,941 | 7,327 |
| 売掛金 | 2,512 | 2,704 |
| 商品及び製品 | 347 | 300 |
| 原材料及び貯蔵品 | 287 | 349 |
| その他 | 939 | 887 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 流動資産合計 | 10,028 | 11,568 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 27,426 | 27,467 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,153 | 5,262 |
| 工具、器具及び備品 | 6,036 | 6,633 |
| 土地 | 2,355 | 2,355 |
| リース資産 | 1,754 | 1,648 |
| 建設仮勘定 | 124 | 159 |
| 減価償却累計額 | △30,300 | △30,584 |
| 有形固定資産合計 | 12,551 | 12,943 |
| 無形固定資産 | 358 | 316 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 849 | 850 |
| 敷金及び保証金 | 4,817 | 4,579 |
| 繰延税金資産 | 36 | 36 |
| その他 | 213 | 163 |
| 貸倒引当金 | △9 | △9 |
| 投資その他の資産合計 | 5,907 | 5,620 |
| 固定資産合計 | 18,816 | 18,879 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 81 | 78 |
| 繰延資産合計 | 81 | 78 |
| 資産合計 | 28,926 | 30,526 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,802 | 2,871 |
| 短期借入金 | — | 2,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 180 |
| 1年内償還予定の社債 | 1,490 | 1,690 |
| 未払金 | 1,944 | 2,317 |
| 未払費用 | 1,513 | 1,486 |
| リース債務 | 164 | 132 |
| 未払法人税等 | 438 | 248 |
| 賞与引当金 | 232 | 196 |
| 株主優待引当金 | 118 | 234 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 258 | 161 |
| その他 | 1,153 | 872 |
| 流動負債合計 | 10,116 | 12,392 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 3,005 | 3,060 |
| 長期借入金 | — | 820 |
| 長期未払金 | 1,970 | 2,315 |
| リース債務 | 194 | 129 |
| 資産除去債務 | 1,404 | 1,462 |
| 繰延税金負債 | 0 | 0 |
| その他 | 151 | 134 |
| 固定負債合計 | 6,727 | 7,921 |
| 負債合計 | 16,844 | 20,313 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,800 | 9,800 |
| 資本剰余金 | 2,527 | 2,527 |
| 利益剰余金 | △167 | △2,036 |
| 自己株式 | △77 | △77 |
| 株主資本合計 | 12,082 | 10,213 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4 | △3 |
| その他の包括利益累計額合計 | △4 | △3 |
| 非支配株主持分 | 4 | 2 |
| 純資産合計 | 12,082 | 10,212 |
| 負債純資産合計 | 28,926 | 30,526 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日） |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 38,958 | 30,769 |
| 売上原価 | 18,359 | 15,053 |
| 売上総利益 | 20,598 | 15,715 |
| 販売費及び一般管理費 | 19,329 | 17,425 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 1,269 | △1,710 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23 | 21 |
| 受取配当金 | 35 | 35 |
| 受取家賃 | 124 | 119 |
| 自動販売機収入 | 24 | 17 |
| 協賛金収入 | 82 | 15 |
| 雑収入 | 15 | 35 |
| 営業外収益合計 | 305 | 244 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16 | 24 |
| 社債利息 | 14 | 16 |
| 賃貸収入原価 | 111 | 104 |
| 雑損失 | 23 | 25 |
| 営業外費用合計 | 165 | 170 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 1,409 | △1,637 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 0 |
| 新株予約権戻入益 | 14 | — |
| 特別利益合計 | 15 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 78 | 23 |
| 減損損失 | — | 102 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 15 | — |
| 臨時休業等による損失 | — | 12 |
| 特別損失合計 | 93 | 139 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 1,331 | △1,776 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 262 | 94 |
| 法人税等合計 | 262 | 94 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 1,068 | △1,870 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失（△） | — | △2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | 1,068 | △1,868 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,068 | △1,870 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2 | 0 |
| その他の包括利益合計 | △2 | 0 |
| 四半期包括利益 | 1,066 | △1,869 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,067 | △1,867 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | △2 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,331 | △1,776 |
| 減価償却費 | 897 | 943 |
| 減損損失 | — | 102 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 80 | △35 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少) | 14 | △97 |
| 受取利息及び受取配当金 | △58 | △56 |
| 支払利息及び社債利息 | 31 | 40 |
| 固定資産除却損 | 78 | 23 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 19 | △192 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △32 | △14 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △327 | 69 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △19 | 74 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △50 | △27 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △2 | 2 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 167 | △262 |
| その他 | 820 | 381 |
| 小計 | 2,951 | △823 |
| 利息及び配当金の受取額 | 58 | 56 |
| 利息の支払額 | △33 | △47 |
| 法人税等の支払額 | △252 | △239 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,724 | △1,053 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,524 | △236 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △19 | △29 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △13 | △40 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 20 | 109 |
| その他 | △8 | △30 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,545 | △227 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | — | 2,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 1,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △400 | — |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △157 | △85 |
| 社債の発行による収入 | 1,962 | 989 |
| 社債の償還による支出 | △555 | △745 |
| 割賦債務の返済による支出 | △316 | △491 |
| 自己株式の処分による収入 | 678 | — |
| 配当金の支払額 | △242 | 0 |
| その他 | 26 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 995 | 2,666 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,173 | 1,385 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,083 | 5,941 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,257 | 7,327 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。